

井尻公民館だより

(2023年3月1日発行)

<令和5年3月号>

(第228号)

<連絡・問い合わせ先> 館長 窪田 道忠 ()
主事 相澤陸奥実 ()

春もややけしきととのふ月と梅

松尾芭蕉



絵手紙愛好会

新田政子

寒い日が続いておりましたが、何処となく日々暖かさを感じ始め、木々の芽も膨らみを増し、春の足音が聞こえる時期となってきました。「三寒四温」という言葉があるように、暖かい日が数日続き、ようやく冬が終わりかなと思っていると、また寒さが、もどったりして、それでも穏やかな優しい日差しが嬉しい季節です。

この季節、保育園、幼稚園、各学校の卒業、又、定年を迎え、退職などと節目で区切りの月です。新しい春に希望を膨らませる月でもありますし、そう願いたいところですね。

コロナ感染もここに来て下がって来ている様、医療体制はまだまだ大変です。政府は新型コロナの感染症法上の位置付を5月8日に季節性インフルエンザと同等の「5類」に引き下げようですが、これもまた、色々問題が多くあるようです。また、マスクの着用も屋内外を問わず個人の判断に委ねるとの事の様です。マスク姿のない、時が来ることを切に願うものです。

お知らせ

公民館で比較的多く使用されています和室にTVで盛んに宣伝を目にするメーカーの空気清浄器が設置されましたのでご承知下さい。



公民館 大掃除のお願い

次の通り大掃除を行いますので、ご協力お願いいたします。

日時： 3月11日(土) 午前9時～

お願いする方々・・・公民館利用者団体各1名以上 (絵手紙・書道・俳句・川柳
和太鼓・太極拳・食生活改善推進委員・ダンス・運営委員会委員)

3月行事予定

桜の候 春の午後のひと時を楽しみませんか

訪問交流コンサート

きらら弦楽合奏団



司会 窪田 有美子

2016年2017年に山梨県の皆様に大好評をいただきました東京の「きらら弦楽合奏団」が、今年も3月に甲州市を訪問し、演奏会を通じて皆様との交流を目的に元気な演奏を届けさせていただきます。

これまでに「大和ふるさと会館」「緑風苑」「光風園」、笛吹市「くわの家」など様々な施設を訪問してとても喜ばれています。

この団体は、山梨県出身のヴァイオリン奏者で、長年 NHK 交響楽団の第1ヴァイオリン奏者を務められた窪田茂夫氏が主宰する東京の合奏団で、技術力も高く、オーディションで選ばれた団体だけが出演できるディズニーランドにも出演し、高い評価をいただいております。

プログラムはどなたでも楽しめるプログラムですので、ご家族連れでご参加いただければ幸いです、たくさんの皆様のご来場をお待ちしております。

「予定演奏曲目」

きらきら星変奏曲・パッフェルベル：カノン・ショプスティック・ちょうちょう・海・里の秋・雪（春夏秋冬のメドレー）・となりのトトロ・カントリーロード・さんぽ（ジブリシリーズ）天国と地獄・スメタナ：モルダウ・猫ふんじゃった変奏曲

《演奏予定時間 約40分》

日時：2023年3月31日（金）13時30分～

会場：井尻公民館2階ホール

（入場無料）

主催/井尻公民館 共催/甲州音楽を楽しむ会 / 窪田ヴァイオリン教室

きららの紹介



2月の活動報告

絵手紙教室

絵手紙愛好会に於いての活動は毎月行なわれておりますが、18 ヶ月ぶりに講師に風間敏樹先生を、お招きし教室を開催しました。

今回はただ筆のみ描く以外にいくつかの手法を駆使し作品を仕上げていきました。それにより絵の構図が一段と魅力的な、作品となりました。



風間敏樹 先生



各作品の批評指導

(川柳)

(井尻公民館川柳愛好会) 2023/1/27

賀状やめ義理が気になる松の内
義理立てて浪花節だよ人生は
怖い詐欺義理人情のない浮世
義理チョコよ言いつつ渡す片想い
あくび出る義理で参加の落語会
義を欠いて絆が切れて遠い人
閣議のね言偏取って義を尽す
義理チョコにもしや本気と寝つかれず

(久保 晃)

(三井厚子)

(田辺たみ子)

(古屋典子)

(雨宮江身子)

(中村廣一)

(関口正次)

(飯島武志)

(短歌)

(古屋和子)

兎年寒い寒い日旅立ちし
夫の播きたる野菜今盛り
如月に果樹剪定の枝拾う
実る迄には道のり遠し

(俳句)

(井尻公民館俳句愛好会) 2023/2/10

セレナーデ漏れ来る窓辺春の猫
山の涯春の芥を焚くけむり
いく時代降り積む雪や里あかり
古りし箱開けて仄かに雛の息
亡き母に肖たるひたりの古雛
雛まつり座敷わらしも紛れこみ
明けやらぬ空の混沌子猫の目
腕白がかしこまっっている雛の前
触れる手になみだ一粒雛の頬

(飯島武志)

(野村可ね子)

(飯島和子)

(増田英仁)

(小林昂平)

(三森美恵子)

(鶴田光子)

(小笠原一子)

(三柵 淳)

(久保 晃)

二月度の短歌に誤りがありました改正しお詫び致します
誤 国家で清く正しく死語となり
正 国会で清く正しく死語となり
(古屋典子)

施設から妻の陽性告げられて
けい帯そばに一睡もできず
翌日に看護師からの連絡で
熱は下りて快方に向く